

発行:(財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL03-5378-6311 FAX03-5378-6161

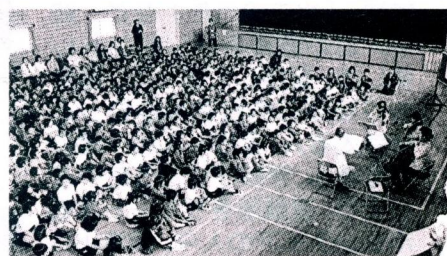
【5/4 福島県会津若松市で弦楽四重奏】

2011年5月4日、福島第1原発1~4号機が立地する福島県双葉郡大熊町の方々が避難されている会津若松市を訪れました。大熊町は過去に町の教育委員会主催で2004年と翌05年に室内楽で演奏を行いました。当時、地元でコーディネートしていただいた方から、「大熊町の方々と、会津若松市の皆さんが一緒になって音楽を楽しむ機会を持ちたい」とお声をかけていただき、会津若松市文化センターにて弦楽四重奏でのコンサート開催となりました。大熊町の皆さんは、全人口11,400人の内、3,600人がこの会津若松市内に移りました。避難先は東山温泉を中心に、喜多方や裏磐梯など計63施設にも分かれています。ホールのロビーには、市内の方を中心に55名の方にお集まりいただきました。日本フィルメンバーはヴァイオリンの本田純一・豊田早織、ヴィオラの高橋智史、チェロの山田智樹。進行役は福島県三春町出身、チェロの山田が務め、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」「ジュピター」といったクラシックの他、「会津磐梯山」「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」「ふるさと」など12曲を演奏。小さい声で口ずさんだり、うつむきながら目頭を熱くさせて聴いてくださる方もいらっしゃいました。被災された方々の心のケアに留まらず、受け入れる地元の皆さんとの新たなコミュニケーションを深める一助に、日本フィルはこれからも、継続して演奏を届けたいと思っています。



【5/6 埼玉県加須市立騎西小学校で弦楽四重奏】

5月6日騎西小学校を訪問しました。福島第一原発の5・6号機の立地する双葉町(総人口約6800人)から約1200人の皆さんが、廃校予定だった埼玉県加須市の旧騎西高校に避難されています。これに伴い、旧騎西高校に近接する騎西小学校には、双葉町立の南小学校と北小学校に通っていた児童のうち99人が編入しました。日本フィルは、さいたま市内の大宮ソニックシティホールで「さいたま定期演奏会」を行っており、共同主催の「財団法人埼玉県産業文化センター」の仲立ちで加須市の教育委員会を通じ、今回の訪問が実現しました。出演はヴァイオリン山田千秋・豊田早織、ヴィオラ高橋智史、チェロ山田智樹の4人。



進行役は福島県三春町出身、チェロの山田が務め、メンバー紹介で「僕も双葉町から少し離れた福島県三春町の出身です」と優しく話しかけると、「福島だから双葉のおともだちと同じだね」と、低学年のブロックから、かわいい声が聞こえてメンバーも思わず微笑みます。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」や、「となりのトトロ」の《さんぼ》や「アンパンマン」のテーマといったアニメソングに、低学年の子どもたちは大喜び。みんなの元気な歌声で児童455人の体育館がいっぱいになりました。全員が立って騎西小学校の校歌を、弦楽四重奏の伴奏で大きな声で歌いました。そして「ラデツキー行進曲」では子どもも大人も全員が一つになって元気な手拍子、そして心のこもった盛大な拍手を頂きました。「子どもたちの笑顔が、周りの大人も元気にするのですね」先生の感想に、音楽の持つ力を実感できたミニコンサートでした。

【5/12 埼玉県加須市立騎西中学校で金管五重奏】

騎西小学校での弦楽四重奏に引き続き、5月12日加須市立騎西中学校で、金管五重奏による慰問コンサートを行いました。騎西中学校には、福島県双葉町から63人の生徒が編入しています。

637人の生徒で体育館はいっぱいです。出演はトランペット星野究・只野佑季(賛助)、ホルン原川翔太郎(賛助)、トロンボーン藤原功次郎、チューバ柳生和太。星野は「日々、大変な中だとは思いますが、今日は生の音楽をリラックスして聴いてください」と、優しく語りかけました。「サウンド・オブ・ミュージック」やアニメ「天空の城ラピュタ」メドレーが、藤原の自身の体験を交えた曲目紹介とともに演奏されました。時折のユーモアで生徒さんから思わず笑いがこぼれる中、「僕も小学校4年生の時に阪神大震災に遭って、1ヶ月ほど避難所で生活しました。小さい頃、阪神大震災まではピアノと作曲を習っていましたが、避難所で度々ブラスバンドの慰問演奏を聴いて、その音色が好きになって中学からトロンボーンを始めました」というトークが、生徒さんと保護者の方の心に届きました。「アンコールは、AKB48の《会いたかった》です！」藤原の声に、女生徒さんから「ワーッ!」「キャッ!」と、とっても素直な歓声が上がりました。いっきに体育館がヒートアップし、名残を惜しむように終演となりました。

